

所 属	環境生活部 地球環境課			環境生活部 環境生活政策課		
担当(係)名	野生生物担当	内線	2703	政策企画担当	内線	2385

新 生物多様性保全の推進について

1 事業費	【財源内訳】	【主な用途】
3,803	一般財源 3,803	報償費 788 (検討委員会開催)
(前年度 3,427)		委託料 1,880 (イクスカーション費用)

2 背景・現状

人間活動による影響が主な要因となって、生物種の絶滅や生態系の破壊、里山等の劣化、外来種による生態系のかく乱等、生物多様性は深刻な危機に直面している。

そのような中、今年10月には名古屋市において生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)が開催され、生物多様性にかかる各種の国際的な枠組みが議論されることとなっており、本県としても、豊かな自然資源の保全に向けた取組を推進するとともに、COP10についても中部各県と連携し、積極的に参画していくことが求められている。

3 事業目的

生物多様性保全に向けて、本県の自然資源の現状を把握し、今後の取組の方向を明らかにするとともに、COP10の機会を活用し、県内の豊かな自然環境やその保全に向けた取組をはじめ、歴史や文化を併せて国内外に情報発信する。

4 事業概要

(1) 県内の豊か度かつ貴重な自然資源の現状把握と保全を目指して、レッドデータブックの改訂作業と地域戦略の策定を推進する。

レッドデータブック(植物編)改訂に向けた調査

自然環境の現状に即応したレッドリスト(植物編)改訂のための調査実施

生物多様性ぎふ戦略の策定

生物多様性の保全及び持続可能な地域づくりのためのぎふ戦略を策定

(2) 地元自治体や国関係機関、経済団体等で構成するCOP10支援実行委員会との連携のもと会議開催期間において関連行事を実施する。

新 生物多様性フェアに出展

- ・会議開催期間中(10/11~10/29)にCOP10本会議場の隣接地(白鳥地区)における発表交流展示会において、県の希少野生生物のパネル展示やパンフレット配布、県内の自然資源を中心とした映像放映等を実施

新 エクスカーション(会議参加者向け地域紹介ツアー)の実施

- ・会議開催期間中の週末(10/23(土)~24(日)(予定))に県内の自然、歴史、伝統、文化等を体験・体感できるツアーを開催

(款)4衛生費 (項)6環境管理費 (目)(2)環境管理推進費
(明細書事業名) 環境管理対策費 自然環境保全対策費
COP10参加者向けエクスカーション事業費
レッドデータ改訂調査費 生物多様性地域戦略策定費
岐阜県生物多様性PR事業費